

2023年3月期

決算説明資料

2023年5月26日

株式会社KSK

Agenda

1 KSKグループ概要

2 業績の概要

前期との比較

過去の業績推移

(売上高・営業利益)

営業利益の増減要因

セグメント別業績

(売上高・セグメント利益・構成比・従業員数)

3 業績予想

4 中期経営計画「TRUST50」

究極の品質、考える現場、プレミアムサービス

5 サステナビリティへの取り組み

人的資本の拡充、エンゲージメント施策、健康経営

エンゲージメントサーベイ、チームカサーベイ

6 Appendix ～ご参考～

1

K S Kグループ概要

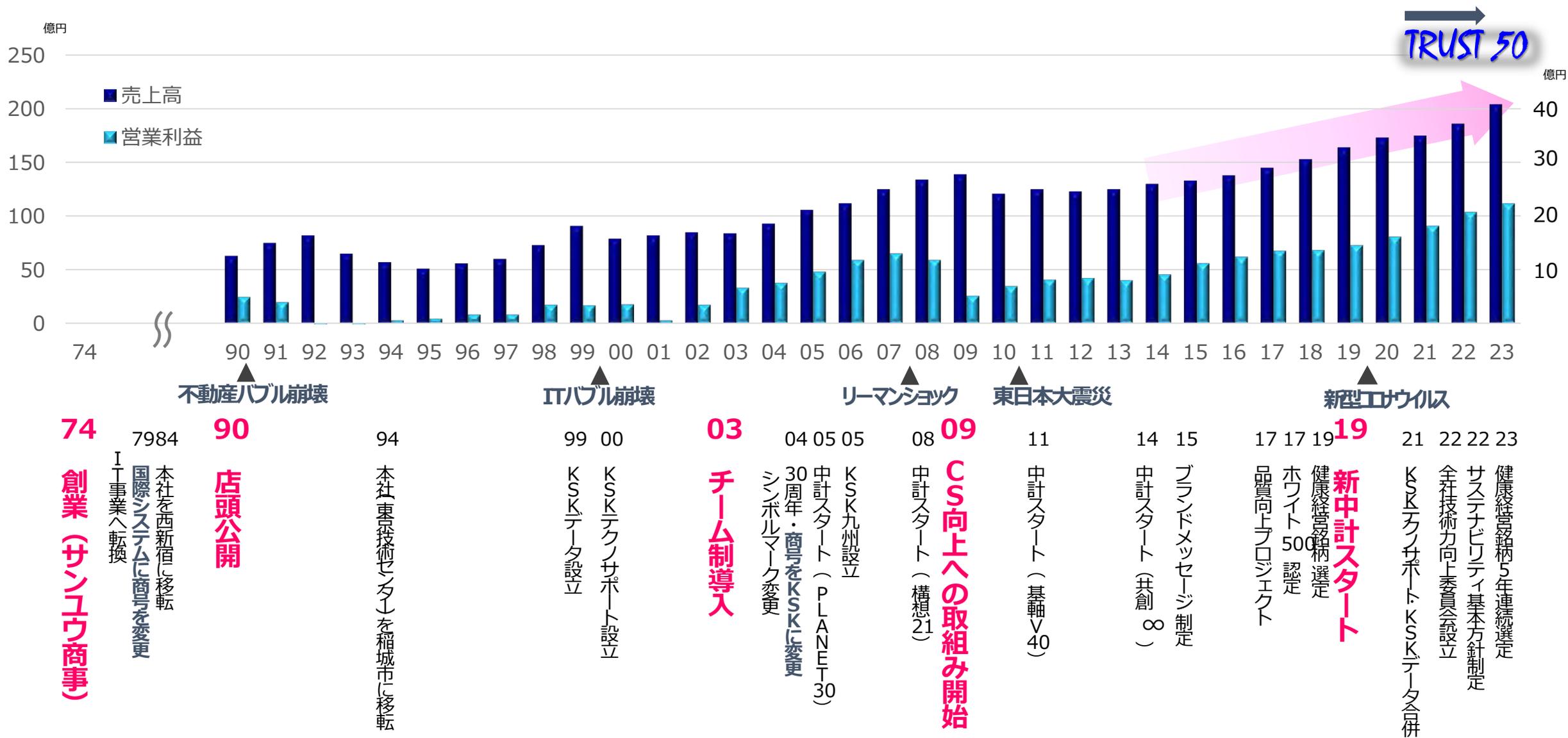
株式会社K S K

設 立	1974年5月23日（創業49年）
資本金	14億4,846万円
事業内容 (セグメント)	① システムコア事業 ② I Tソリューション事業 ③ ネットワークサービス事業
従業員数	2,342名（連結、2023年3月末現在）
本 社	東京都稲城市百村1625-2
事業所	東京本社，日本橋，新宿，川崎，さいたま，浜松，刈谷，関西，熊本



K S Kグループ会社

株式会社K S Kテクノサポート	資本金 5,000万円	東京都稲城市	ネットワークサービス事業/ I Tソリューション事業
株式会社K S K九州	資本金 2,000万円	熊本県熊本市	I Tソリューション事業



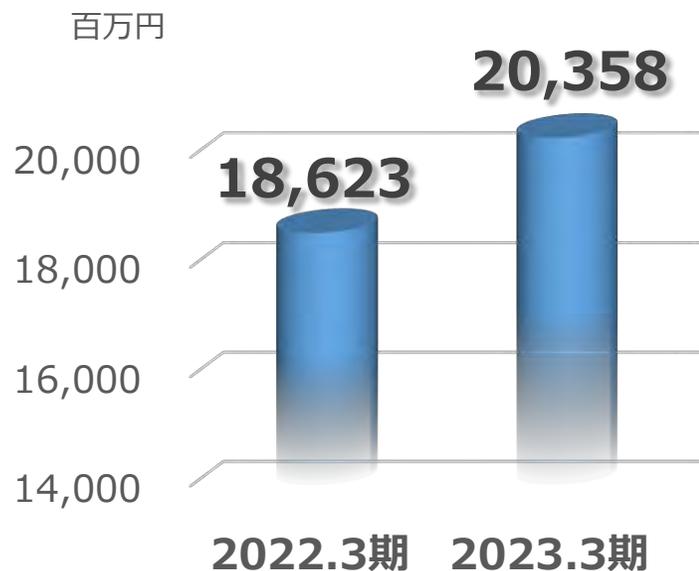
2

業績の概要

2023年3月期の連結業績は、売上高が11期連続増収となり初めて200億円の大台を超え、営業利益も9期連続増益となりました。その結果、売上高・営業利益・当期純利益のいずれも過去最高値を更新しました。

売上高

9.3%増



営業利益

7.5%増

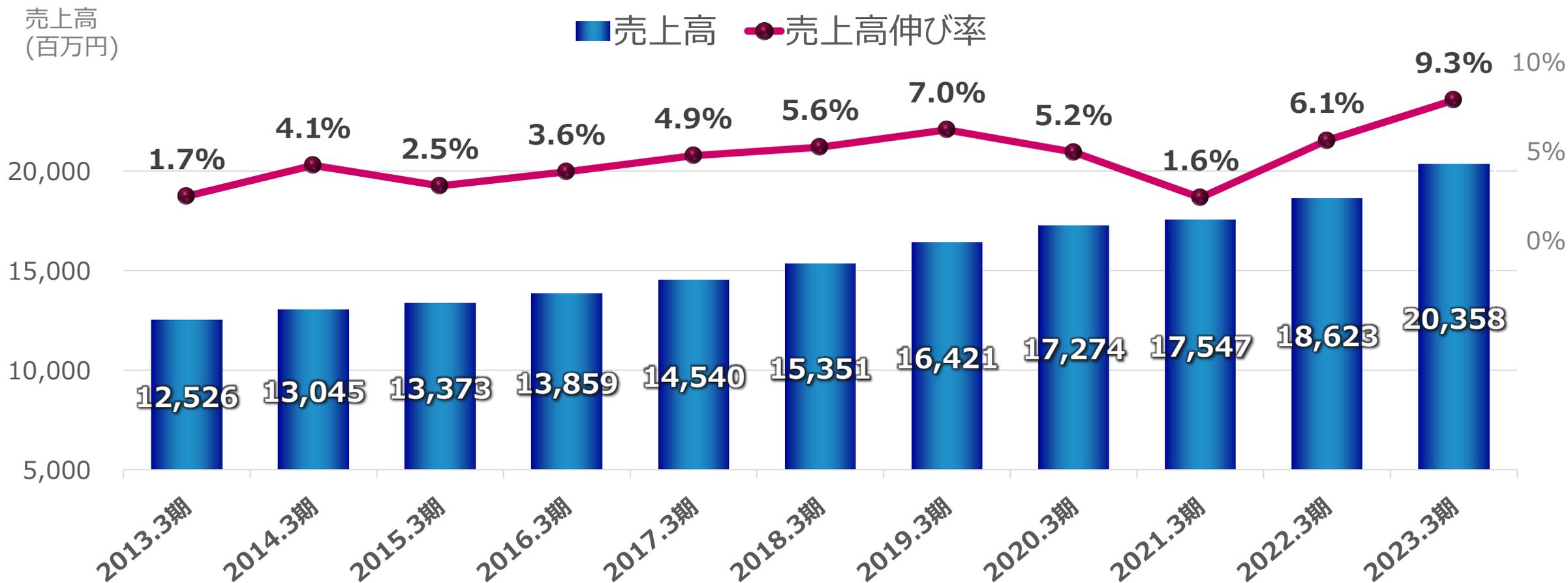


当期純利益

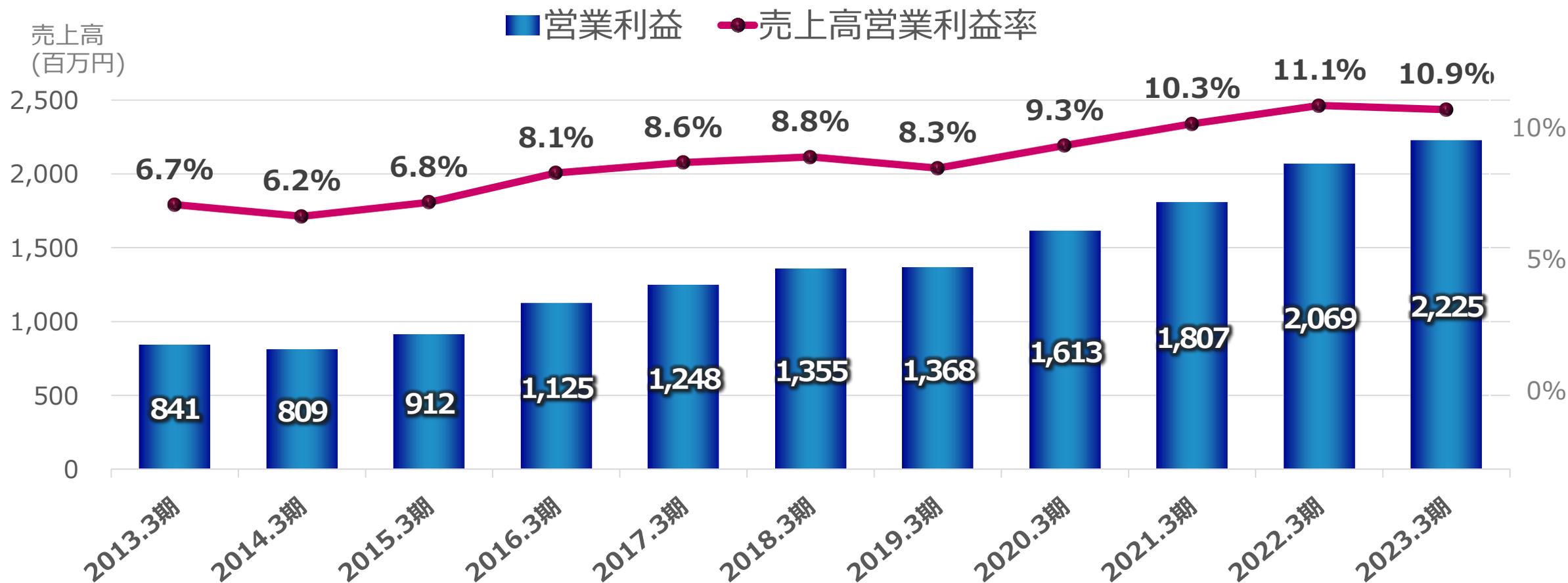
5.9%増



11期連続増収期間中の年間平均成長率は4.7%と、安定した成長を継続しております。
 なお、当期の売上伸び率9.3%は、過去11年間で最も高い成長率となりました。

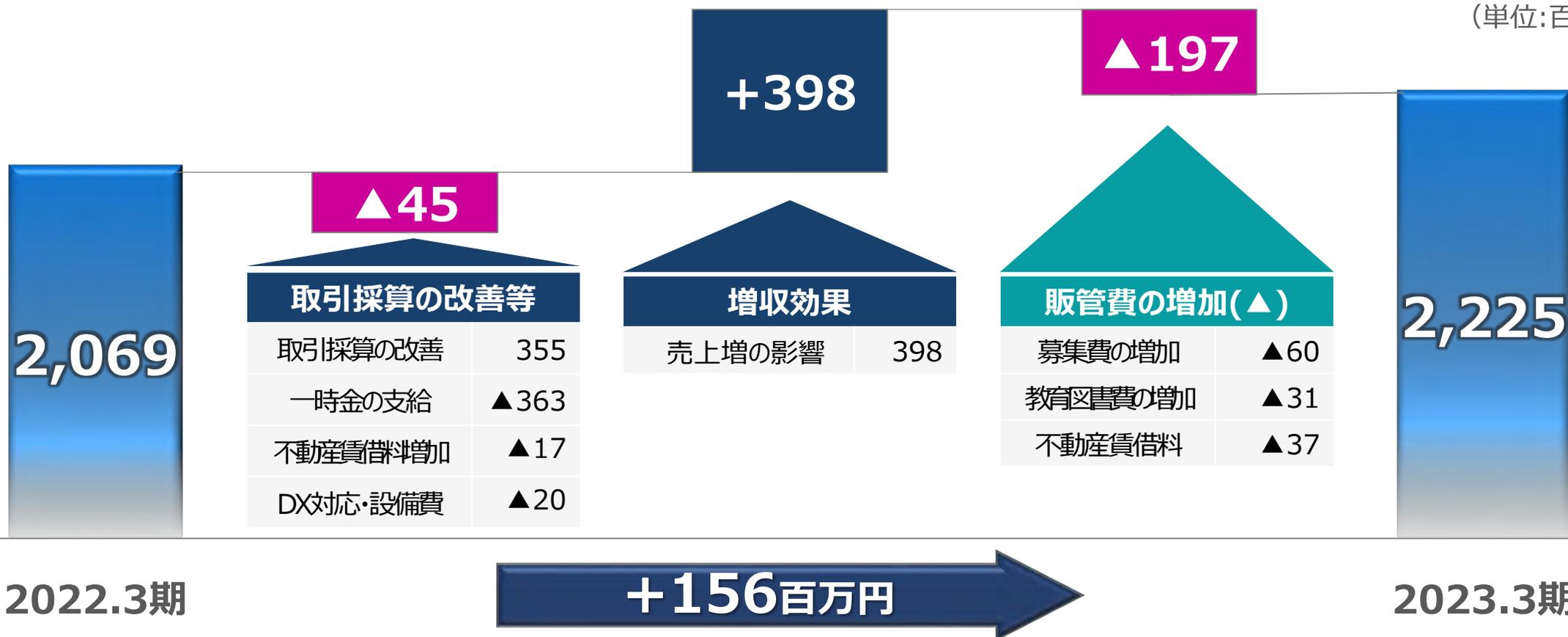


営業利益は当期まで9期連続増益を維持しており、直近3期については10%を超える営業利益率になりました。なお、当期は人材投資や社内DX推進等により経費が増加するなか、前期並みの営業利益率を維持しました。



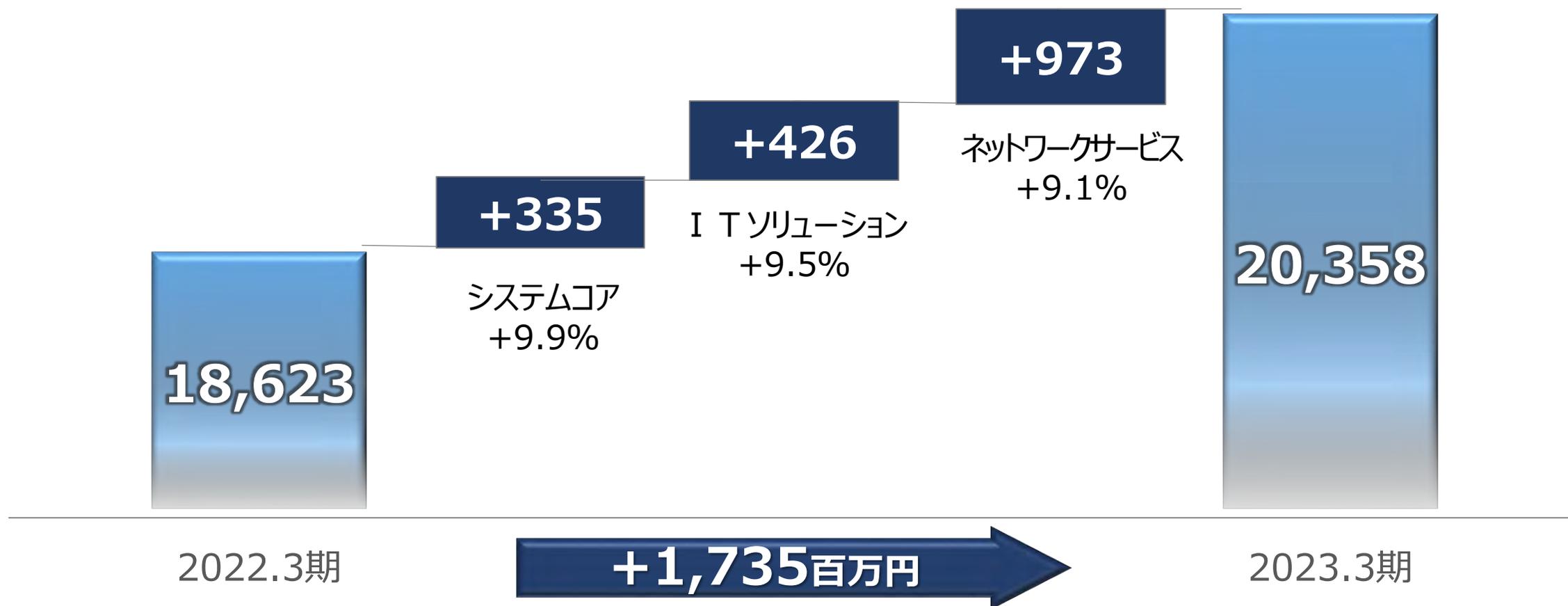
原価率は前期比0.2ポイント上昇しました。契約条件の見直しやプロジェクトの生産性向上、稼働率の改善等が原価率改善に寄与している一方、一時金の支給等により支出が増加したことによるものです。販売管理費の増加は主に募集費・教育図書費等、人的資本投資に関連するものです。

(単位:百万円)



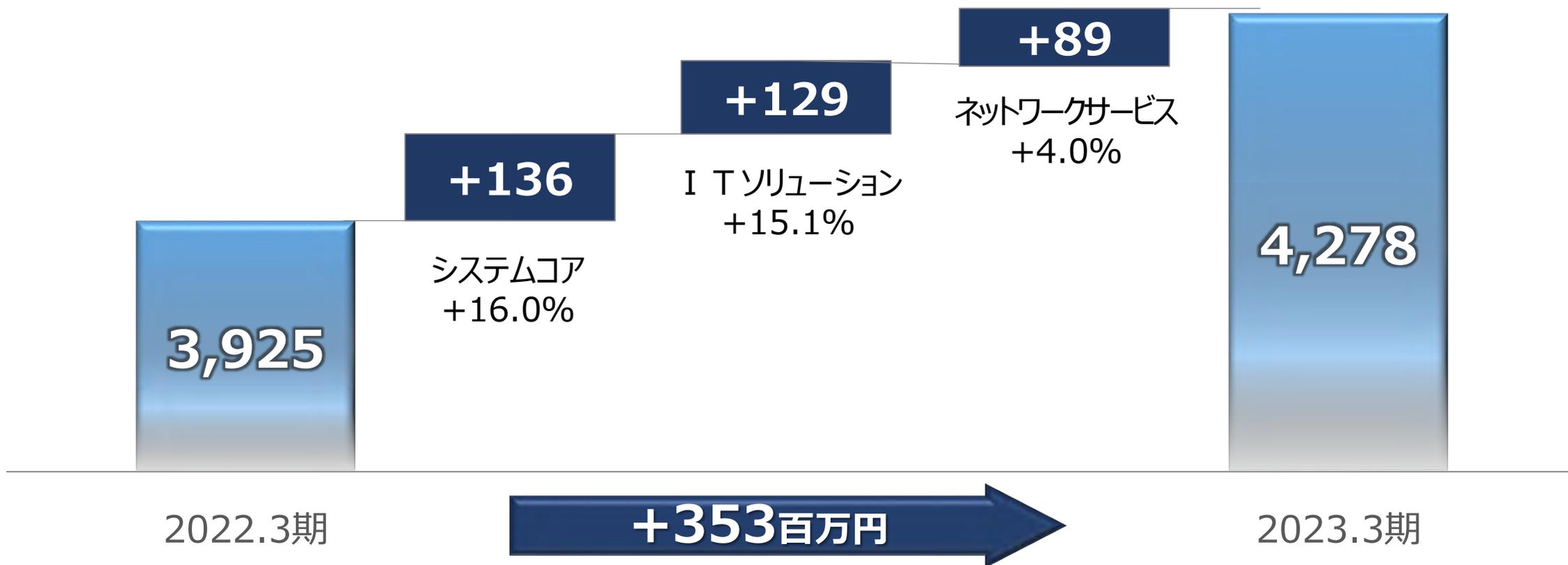
前期に引き続き全セグメントが前年同期比増収となるとともに、3セグメントともに9%を超える成長となりました。なお、今まで成長率のトップを維持していたネットワークサービスに替わり、システムコアが最も高い成長となりました。

（単位：百万円）



前期に引き続き、すべてのセグメントが前年同期比増益となりました。
システムコアとITソリューションは前期と同様に、10%を超える増益を維持しています。

（単位:百万円）



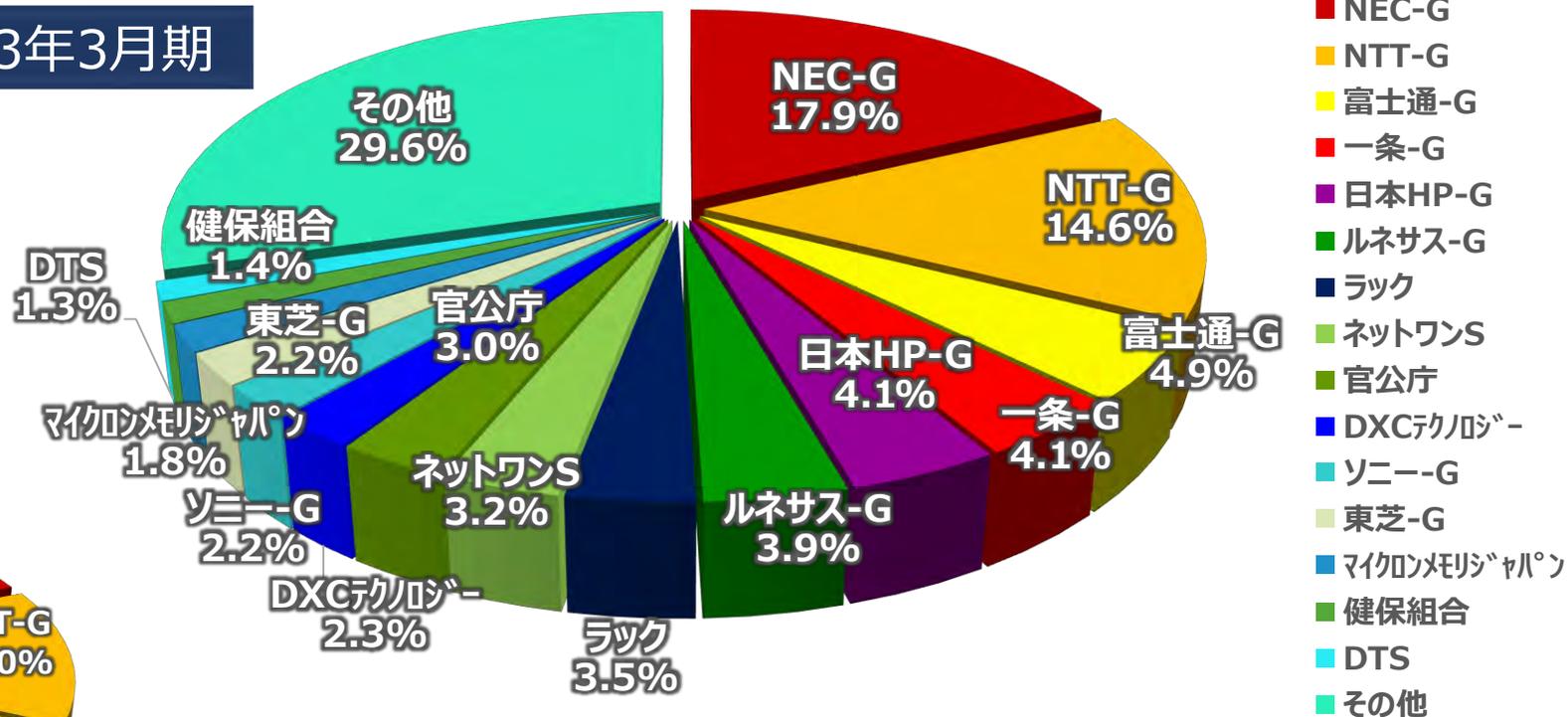
新卒新人は概ね6か月間の研修を受講するため、大量の新卒採用は売上高利益率のマイナス要因となります。ネットワークサービスは最も多い新卒を引き受け前期比1.0ポイント低下、全体でも0.1ポイントの低下となりました。

	売上高		利益			
	売上高	前期比増減	セグメント利益	前期比増減	売上高利益率	前期比増減
システムコア	3,727	+9.9%	984	+16.0%	26.4%	+1.4pt
I Tソリューション	4,901	+9.5%	981	+15.1%	20.0%	+1.0pt
ネットワークサービス	11,729	+9.1%	2,313	+ 4.0%	19.7%	- 1.0pt
合 計	20,358	+9.3%	4,278	+ 9.0%	21.0%	- 0.1pt

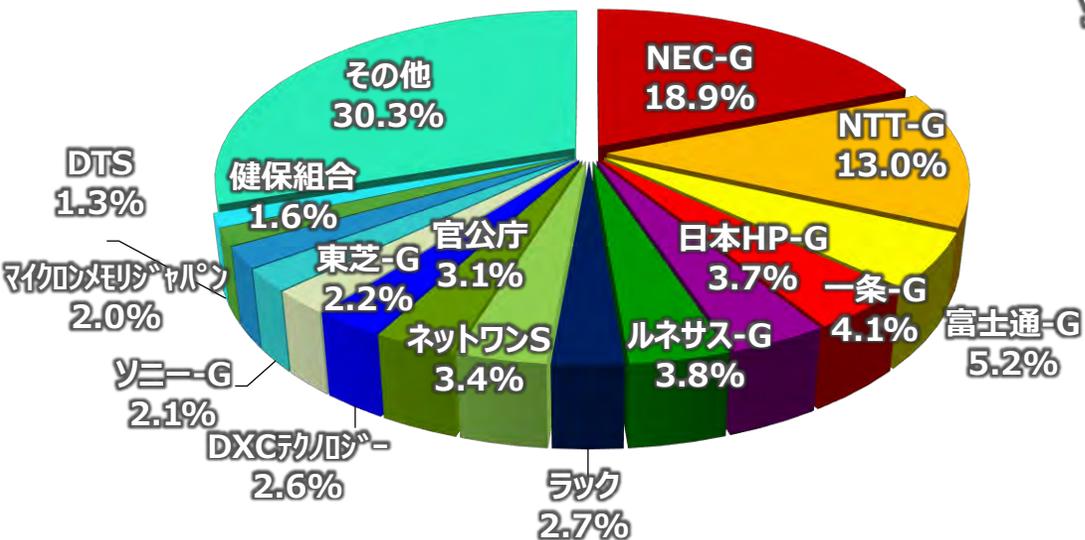
2023年3月末の従業員数は、2022年3月末比69名増加し、2,342名となりました。
 なお、前期に引き続き3セグメントともに前期末比増員を維持しています。

	2021年3月期		2022年3月期		2023年3月期		前期末増減	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	増減比
システムコア	352	16%	358	16%	368	16%	+10	2.8%
I Tソリューション	418	19%	431	19%	436	19%	+5	1.2%
ネットワークサービス	1,303	60%	1,379	60%	1,435	61%	+56	4.1%
その他	113	5%	105	5%	103	4%	▲2	▲1.9%
合 計	2,186	100%	2,273	100%	2,342	100%	+69	3.0%

2023年3月期



2022年3月期



お客様別売上構成の変化

【シェア拡大】

- NTTグループ 様
- 日本HPグループ 様
- ルネサスグループ 様
- ラック 様
- SONYグループ 様

【シェア縮小】

- NECグループ 様
- 富士通グループ 様
- ネットワンシステムズ 様
- 官公庁 様
- DXCテクノロジー 様

● システムコア事業（増収・増益）

- ✓ 今後の成長が期待されるイメージセンサーなどの他、IoT関連の半導体設計と組込みソフトウェア開発が伸長。
- ✓ 通信機器部品・システムの設計開発、医療装置の設計開発業務も堅調に推移。

● ITソリューション事業（増収・増益）

- ✓ 自社開発のパッケージソフトウェアやスマートデバイス検証サービスの受注が順調に伸長。
- ✓ その他システム開発案件も契約条件の改善が進む。

● ネットワークサービス事業（増収・増益）

- ✓ 各種ネットワークの新規構築や運用・保守業務、情報セキュリティ関連業務等の需要は引き続き堅調に推移。
- ✓ 受注機会の的確な捕捉に向け、積極的な人材投資を継続。

システムコア事業

車載分野：CASEの時代へ

- ・車載用マイコン/SoC/アナログIC開発
- ・車載用セキュリティソフトウェア開発



IoT/AI時代の多分野の開発に貢献
車載分野のCASE化に対応します

通信機器

- ・部品の機構設計/基板の回路設計
- ・5G通信システム的设计・評価



医療用デバイスの開発



産業用マイコン開発

PC向け半導体

- ・メモリデバイス設計
- ・テスター部品設計



スマートフォン向け

- ・CMOSイメージセンサー設計
- ・筐体の構造設計

ITソリューション事業

● 自社 P K G ビジネス

- ・ 住宅建設会社向けの総合管理システム
住宅マネージャの販売、導入、運用支援



● システム開発支援

- ・ 製造業生産管理システム
- ・ 基幹系 Web システム
- ・ モバイル実機検証サービス



アプリケーションの力でお客様の
ビジネス発展に貢献します

● A I

- ・ 現場を変える AI ソリューション 開発
AI-OCR/自然言語処理/点群データ



● B P O 関連

- ・ A I -OCR データ エントリー 業務
- ・ 図面 データ デジタル化 支援 業務
- ・ 健保 組合 向け 人材 派遣

ネットワークサービス事業

クラウドサービス

パブリック/ハイブリッドクラウド運用
 (AWS、Azure、セールスフォース など)
 Office365、仮想ネットワーク構築
 ローコードプラットフォーム導入/開発

DX社会のニーズに応えます
 (インフラ設計・構築、運用すべてに対応)

データセンター

データセンタマネジメント
 クラウド基盤運用
 障害監視



キャリア系ベンダ

ネットワーク構築・運用支援
 全国/ローカル5G展開支援



学校

GIGAスクール
 校内Wifi導入、ICT教育環境
 オンライン授業環境導入



ユーザ企業

オンサイト基盤運用支援
 仮想化基盤構築、IPネットワーク設計構築
 テレワーク環境導入



病院

電子カルテ運用支援
 オンライン診療環境導入



ソリューションベンダ

インフラ基盤構築
 O S S環境構築
 基盤運用支援
 障害監視

セキュリティベンダ

CSIRT運用支援
 脆弱性診断 SOC運用



Internet

3

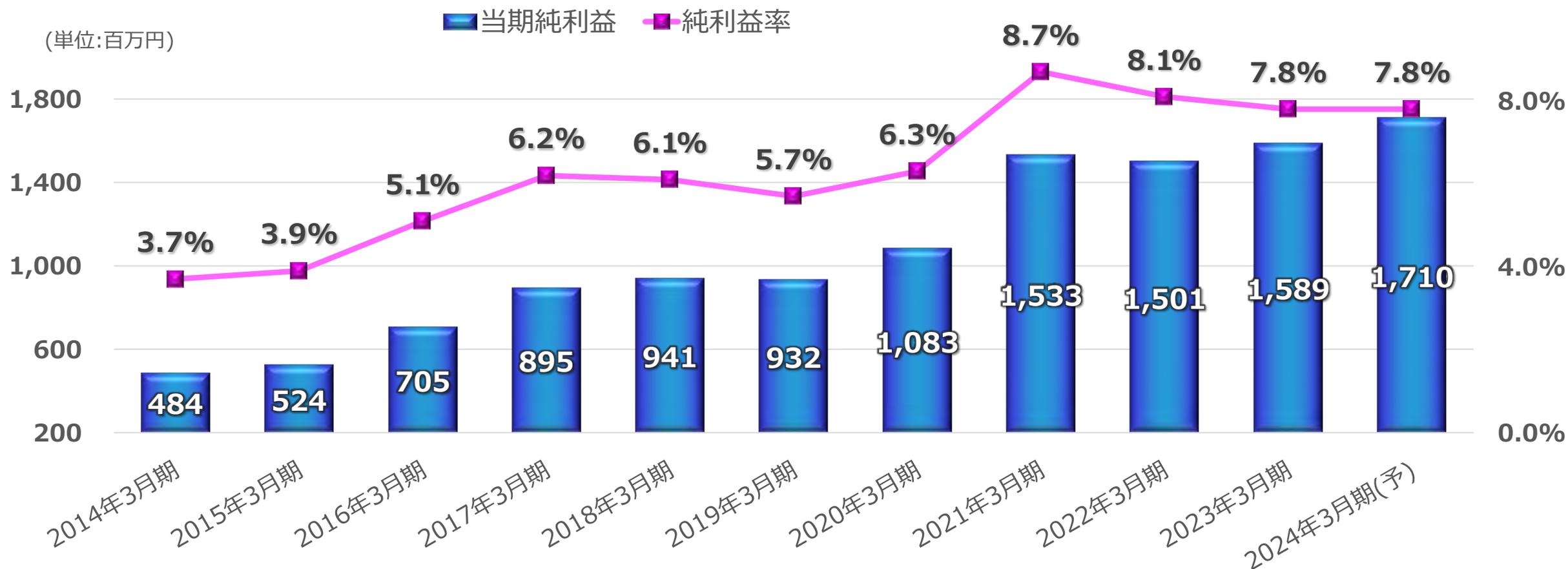
業績予想

（単位：百万円）

	2023年3月期	2024年3月期 (予想)	対前期比
売上高	20,358	21,900	7.6%
営業利益	2,225	2,260	1.6%
経常利益	2,292	2,320	1.2%
当期純利益	1,589	1,710	7.6%

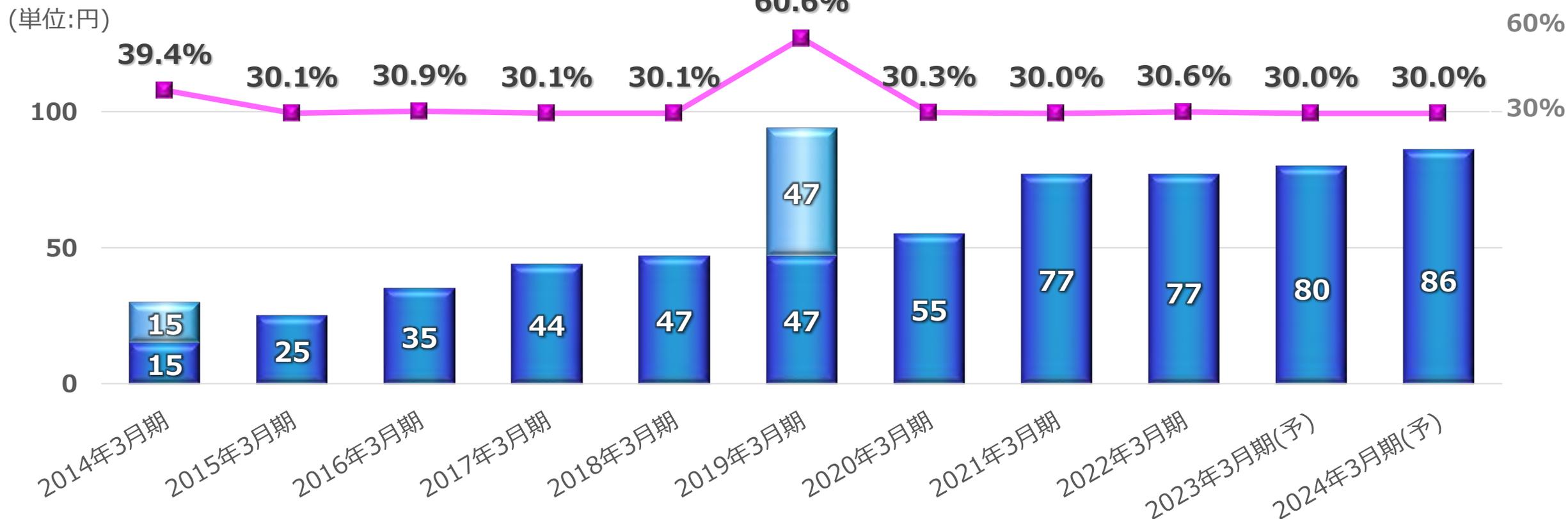
	2023年3月期(予定)	2024年3月期 (予想)	配当性向
配当金	80円	86円	30.0%

2024年3月期の当期純利益は1,710百万円を見込んでおり、過去最高益の利益予想となります。



株主還元につきましては連結業績を基準に配当性向30%を目途に行うことを基本方針としており、2024年3月期末配当は86円を予想しています。

■ 普通配当 ■ 記念配当 ■ 配当性向



4

中期経営計画「TRUST50」 (2019年4月～2024年3月)

1. 究極の品質

KSK品質を確立し、品質を強みにする企業集団となる

 施策事例：「かがやきプロジェクト」 (p.26)

2. 考える現場

あらゆる変化に対応し、更なる発展へ全社員が考える集団となる

 施策事例：「品質OK?」「ヨクスル」「サクサク提案」 (p.27)

3. プレミアムサービス

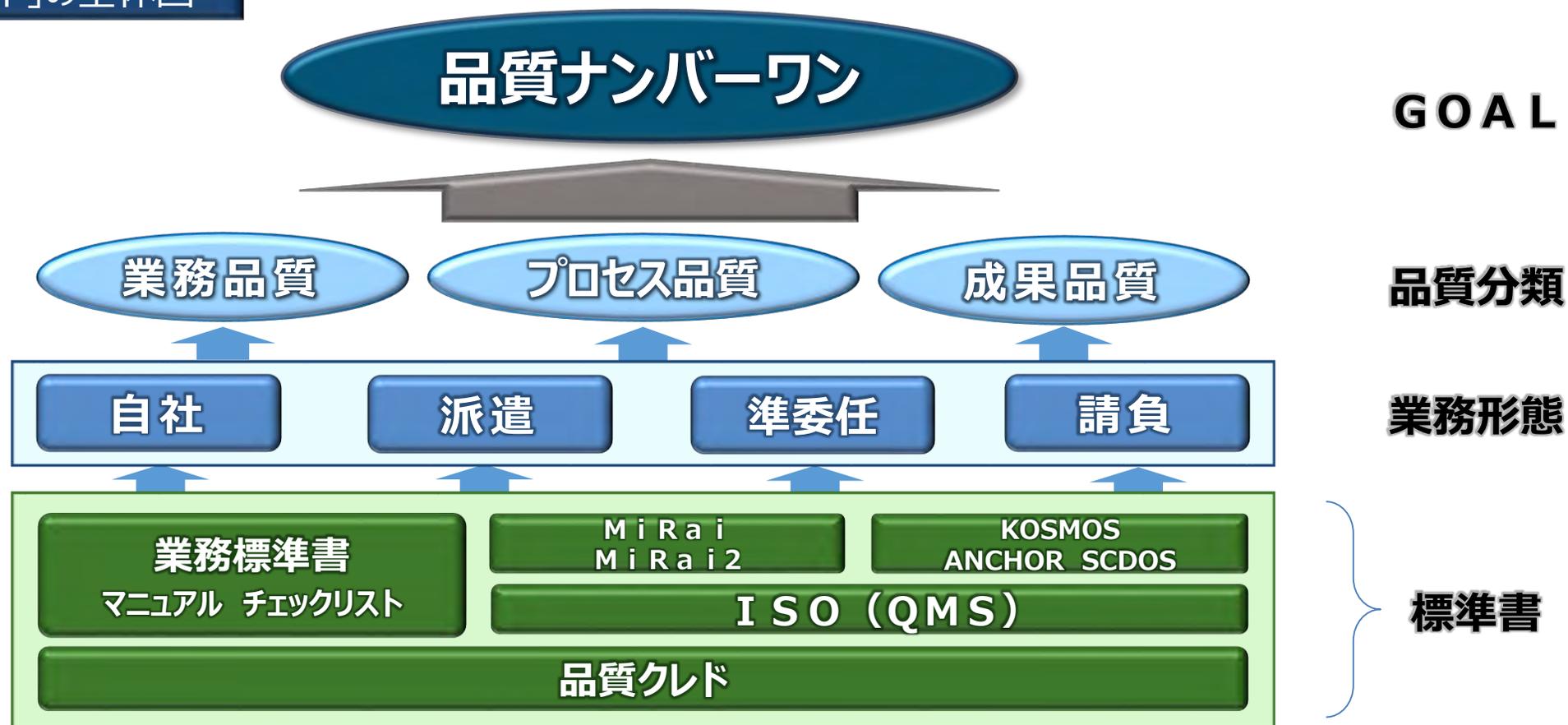
現場の強みを最大限に活かし、競合他社を圧倒するプレミアムサービスを提供する

 施策事例：「CSの基本方針」「技術力向上に向けた取り組み」 (p.28～p.32)

**社員一人ひとりが自らの業務遂行力とKSKで働くことに誇りを持ち、
最善の顧客サービス提供を通し真のパートナーとして信頼される、そんな会社でありたい。**

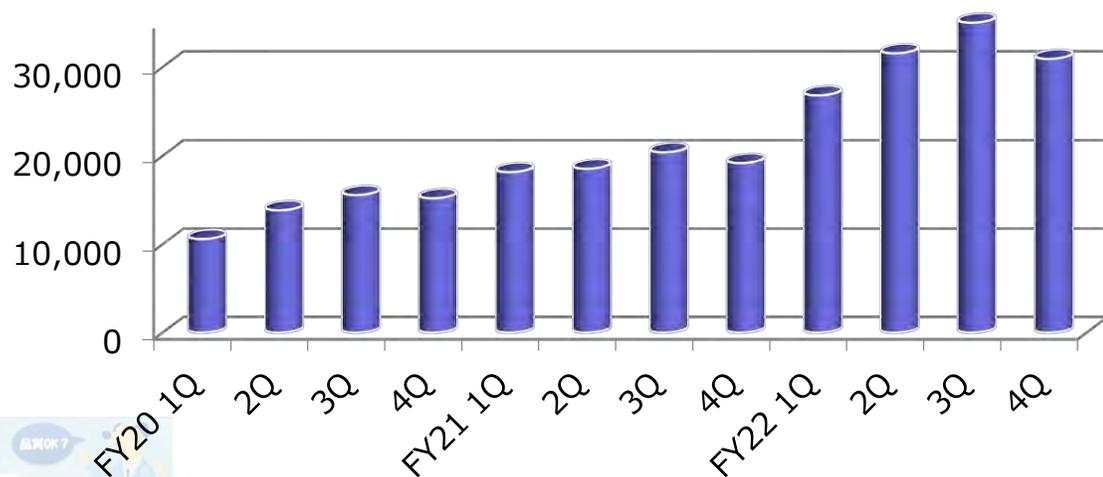
2017年4月に「品質ナンバーワン」をVISIONに「かがやきプロジェクト」を立ち上げ、「人質向上」「標準化」「自動化」の3つの取り組みを中心に、品質向上に努めております。

「かがやきプロジェクト」の全体図



更なる発展に向けて全社員が「考える現場」を実践するために、指摘しあえる風土の定着に向けた取り組みとして「品質OK?カード」や、現場での業務改善・工夫などを提案する制度として「ヨクスル」・「サクサク提案」が制度化され、活発に指摘活動や提案活動が展開されています。

「品質OK?」カード受信枚数の推移



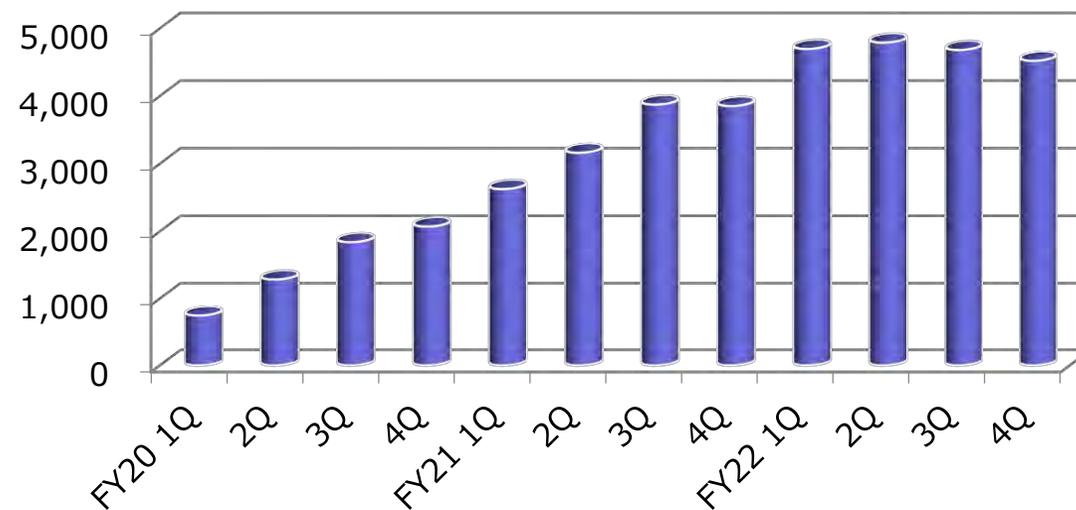
「品質OK?」は月平均10,369枚受信

「ヨクスル」は月平均1,557件の提案があがっている

(2022年度実績)



「ヨクスル」提案件数の推移



KSKグループでは、CS向上の基本方針である「(お客様の)期待以上」「(KSKの)役割以上」「(KSKの)報酬以上」をスローガンに掲げ、CS活動を展開しております。



毎年1回、お客様に28項目におよぶアンケートを実施。回答いただいた内容はしっかりフォローしCS向上につなげております。（2022.11実績：全社平均89.0点、回答率98.4%＜312件/317件＞）

目的

- お客様の評価（声）に対する改善活動を行い、お客様の不満点を解決し、業績向上につなげる。

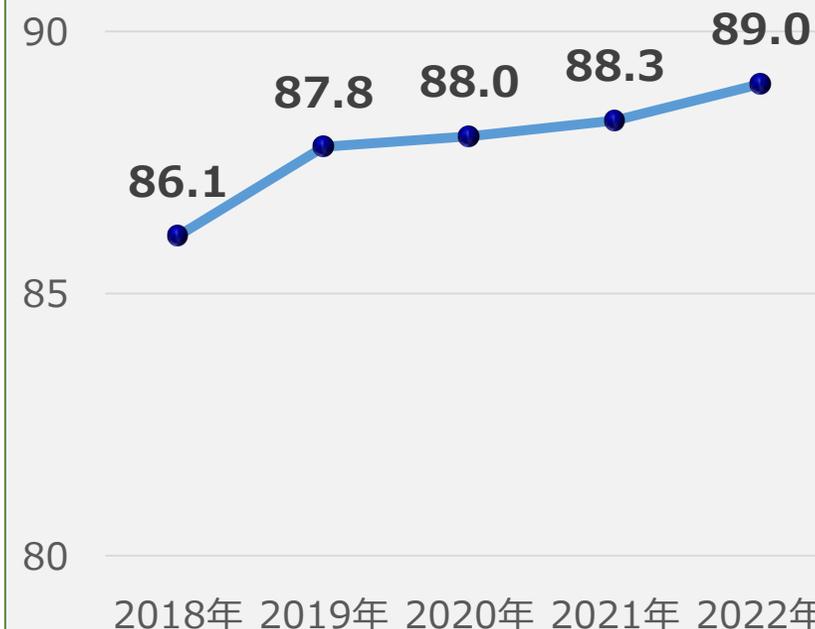
方法

- 現場が任意で対象先を選定する
- 定点調査（毎年同時期、原則同じ質問）

項目

- 管理者・営業対応 ■ 技術力 ■ 人間力
 - トラブル対応等 ■ セキュリティ ■ マナー ■ 5S ■ 総合
- 合計28項目

調査結果推移



全社技術力向上委員会

- 技術向上施策の展開
- スキルロードマップ運用管理

システムコア
技術力向上委員会

ITソリューション
技術力向上委員会

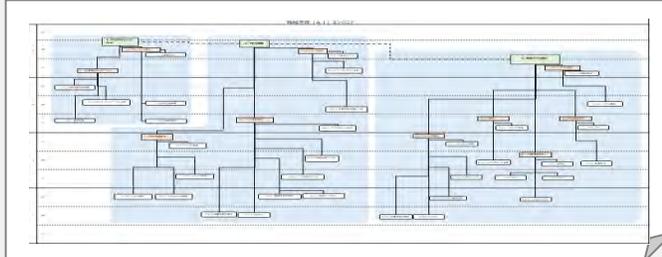
ネットワークサービス
技術力向上委員会

スキルロードマップ

KSKエンジニアがITプロフェッショナルを目指す上で必要なスキルと、その習得を支援するフレームワーク4要素（スキルマップ、技術構成要素、研修/資格、評価シート）から構成される

スキルマップ

専門分野毎の技術ランクに対応したスキル構成を細分化



研修/資格

推奨資格/研修の一覧

研修/資格	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
...																					

スキルリスト

各スキルの詳細を記述

スキルID	スキル名	スキル説明	所属
...

スキルスコアシート

スキル達成度の評価指標

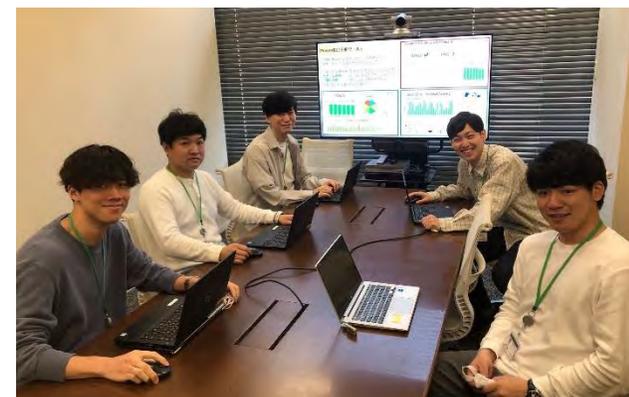
スキルID	スキル名	1	2	3	4	5
...	...					



技術ランク登録
取得資格閲覧
受講研修閲覧

技術コンテスト・技術コミュニティ

経営トップも参加する全社技術力向上委員会では、各セグメントや組織全体の中期的技術力強化に向けた具体的な目標と実現方法を設定し、活動しております。
2022年度に実施した技術コンテストや技術コミュニティにより、社員が新たな技術に楽しみながら触れ合うような取り組みも併せて実施しております。



NWS 技術コンテスト本選

説明会 : 2023年3月2日
開催期間 : 2023年3月6日～3月24日の期間の中で1日(4時間)を決めて実施
※本選開催の希望日時を技術コンテスト委員会までご連絡下さい。

【テーマ】: AWS WordPress環境構築

手順:

- ① 仮想ネットワーク (VPC) を構築する
- ② 仮想ネットワークをパブリックサブネットとプライベートサブネットに分割する
- ③ パブリックサブネット上にWebサーバー、プライベートサブネット上にDBサーバー (RDS) を構築する
- ④ WebサーバーからDBサーバーにアクセスする
- ⑤ WordPress用のデータベースを作成する
- ⑥ WordPressのインストール・設定する (ツール指定なし)

Goal:

- ① 環境構築しブログに書き込むことが出来ること。

評価:

時間内の構築達成度で評価させて頂きます。

前提:

- ① AWSアカウント登録
※既に登録済みの方は1年で無償期間が終わっている可能性があるため確認下さい。
- ② TeraTermツールの導入

終了後:

- ① 環境削除をお願いします。



システムコア事業本部の技術コンテスト本選の様子



ITソリューション事業本部のコンテストに向けた準備風景並びに本選表彰式

最優秀賞
「みんなの健康アプリ」



ネットワークサービス事業本部の技術コンテスト要領

K S Kグループは量から質への転換を図るため、「エンゲージメント（企業風土）」「人材育成（仕組み）」「CS向上（戦略）」を経営の基軸と位置づけ、エクセレントカンパニーを目指し将来にわたり継続的成長を実現してまいります。



2003年にチーム制を導入して以降、K S K 成長の基盤となる制度です。
 チームで業務に取り組むことにより、社員の孤立を回避し、社員の成長を促進し、組織のパフォーマンス向上に結び付けています。

チーム制の理念

- ◆ 現場を強くすることで K S K グループの競争力を高めます（会社）
- ◆ ビジネスの実践を通して社員一人ひとりが自己実現を図ります（従業員）

チームの機能

- | | | |
|---------|------------------|---|
| 1. 協働の場 | プロジェクトチーム、生産性の追求 | ・仕事の成果を出す |
| 2. 成長の場 | 仕事と交流を通じた自己研鑽 | ・刺激し合い、切磋琢磨する |
| 3. 帰属の場 | 自分の居場所としてのコミュニティ | <ul style="list-style-type: none"> ・自分の存在を認められる ・自分の理解者がいる ・本音を出せる ・安らぎを感じる |

5

サステナビリティへの取り組み

私たちKSKグループは、経営理念「敬天愛人」ならびにグループ企業行動憲章に則り、
情報基盤を提供するテクノロジーを通じて、豊かな未来を創造するとともに、
人間中心の経営を実践し、持続可能な社会の実現に貢献します。

経営理念

敬天愛人

私たちKSKグループは
テクノロジーを通じて豊かな未来を創造することを
自らに与えられた使命と考え
グローバルな価値を持つ普遍の真理にしたがって
人間中心の経営を実践します

KSKグループ企業行動憲章（抜粋）

2. **新しい技術の応用に主体的に取り組む**ことによって自ら進化を果たすとともに、**豊かな社会の発展に貢献**します
3. **健全で自由な競争**のもと、**公正かつ適切な取引**を行います
5. **国内外の法令およびその精神を遵守**するとともに、良き企業市民として社会の倫理や規範、常識に則った行動に徹し、秩序と安全の維持に貢献します
6. **地球環境の保全を企業の責務**と受け止め、あらゆる企業活動の場面において**環境への負荷低減に主体的に取り組**みます
7. 企業情報を適時、**公正かつ積極的に開示し、広範な社会とのコミュニケーション**を行うことによって経営の透明性を高め、**社会からの信頼と共感を得られる**よう努めます
8. **従業員が相互の個性と人格を尊重し合い**、能力と創造性を発揮し自己実現を図るための**開かれた企業風土**をつくります
9. **公平・平等を基本**とし、企業活動において関係する**すべての人々の人権を尊重**します

9 産業と技術革新の
基盤をつくろう11 住み続けられる
まちづくりを

地域貢献活動

(p.42)

5 ジェンダー平等を
実現しよう

女性活躍推進

(p.52)

3 すべての人に
健康と福祉を

健康経営

(p.50~p.51)

経営理念

敬天愛人

～ 人間中心の経営 ～

8 働きがいも
経済成長も

エンゲージメント施策

(p.47~49、p.53~55)

4 質の高い教育を
みんなにKSKカレッジ
人的資本の拡充

(p.43~p.46)

11 住み続けられる
まちづくりを15 陸の豊かさも
守ろうISO14001
KSK ECO Club

(p.38~p.41)

2000年2月、EMS（ISO14001）の認証取得後、長年に亘り 環境問題への取り組みを継続しております。

環境方針（基本方針）

株式会社KSKは、この美しい地球を守るために自然環境に優しい事業活動を展開し、私たち全員の力で環境保護活動を推進します。

- 本社/東京技術センターの事業活動において、環境マネジメントシステムを確実に実行し環境保護活動を推進しております。

（取り組み事例）

OA用紙使用冊数管理、産業廃棄物混同率管理、使用電気量管理、ボランティア清掃活動参加 等





K S KグループではI T企業では珍しく5 S活動を積極的に行っており、外部のコンサルタントからも高い評価をいただいております。（5 S = 整理・整頓・清掃・清潔・躰）

5 S活動は、『徹底したムダの排除であり、問題点を顕在化して問題解決する**体質づくり**』
～単なる美化運動でも掃除だけでもない～ ⇒ 5 Sの真髄は「**見える化**」

外部コンサルタントによる5S診断

- コロナ禍により長らく一部での限定実施が続いていましたが、2023年2月に全面復活
- デジタル技術との融合等の新たな取組みも加わり、ポストコロナの新しい働き方を踏まえ、5S活動が再活性化

多面的な5S活動例

- オンサイト「5 S改善アイデア」コンテスト
- 自宅の5 Sコンテスト

5Sをやって
心がきれい
になりました



15チーム



31チーム

本社をはじめ、各拠点のある地元自治体と協働で清掃活動等のエコ活動に参加し、地域環境の整備と良好な地域コミュニティの形成に貢献しております。

Team KSK ECO CLUB



ボランティア清掃活動

毎週、昼休みを中心に各拠点
周辺の清掃活動を行っています。



全社清掃活動

2011年以降、主催した清掃活動は62回
延べ2,621名が参加
回収したゴミの総重量は約1.7トン
～ コロナ禍で自粛していましたが
2022年11月 約3年振りに開催 ～

社内ボランティア組織の
エコ活動をK S Kが物心両面
で支援

グループ社員同士が、絆や誇り
を持てる企業風土を共有するため
に、社会貢献と環境保護をテーマ
にした活動

社会への無償の貢献実感が
自らの存在意義の確認を経て
誇りへとつながる

放置され荒廃した里山の保全活動を通して、森と人との付き合い方や昔ながらの暮らしの技術や知恵を学ぶ施策
環境保全活動を行うNPO法人「樹木・環境ネットワーク」に正会員として加盟（1月）、3月より活動開始

里山の保全活動



森や里山を
元気にしたい

樹木・環境
ネットワーク協会
SHU



こんなことも・・・



本社脇の土手の
土留めに芝桜を
植えました

地域貢献、地域コミュニティとの調和に加え、未来のIT人材育成に資するIT講座を開講しました。
～ 「mBotを使ったプログラミング教室」を稲城市立中央図書館にて開催（2023年1月）

オープンカレッジ

稲城市を拠点とするIT企業・株式会社KSKによる

mBotを使った



令和5年1月14日(土)
午後2時～4時

プログラミング教室

ビジュアルプログラミング環境「mBlock(エムブロック)」で制御することのできるプログラミングロボットのmBot(エムボット)を使って楽しくプログラミングを学んでみましょう。

- 会場：城山体験学習館・視聴覚室（稲城市立中央図書館隣接）
- 対象：小学校高学年～中学生 ●定員：15名
- 申込：e:inagilib@library.inagi.tokyo.jp
12月25日（日）までにメールにて申込。こちらからどうぞ※定員を超えた場合は抽選となります。
- 問い合わせ：稲城市立中央図書館（電話：042-378-7111）



KSKの若手社員が講師で
和やかに開催
Scratchを用いてプログラミングし
mBotを動かす体験学習に
小学4年～中学2年までの
15名が参加



IT・情報通信関連誌や、子ども向け科学情報誌等の雑誌スポンサーとして稲城市立図書館と連携しております。

また、エンゲージメント施策の一環として継続実施している読書会で使用した書籍を稲城市立図書館に寄贈いたしました。

（2022年度寄贈累計379冊）



人的資本の拡充が経営の最優先課題と捉え、技術研修に加え人間力研修にも力を入れ、技術力と人間力が共に優れた人材の育成に努めています。

【自立したエンジニアの育成】

人間力研修	技術研修
新入社員向け	システム・ネットワーク分野
若手社員向け	ソフトウェア分野
中堅社員向け	組込みソフトウェア分野
管理者向け	ハードウェア分野

年間カリキュラム（120種）

【教育機関の設置】

専任講師：8名

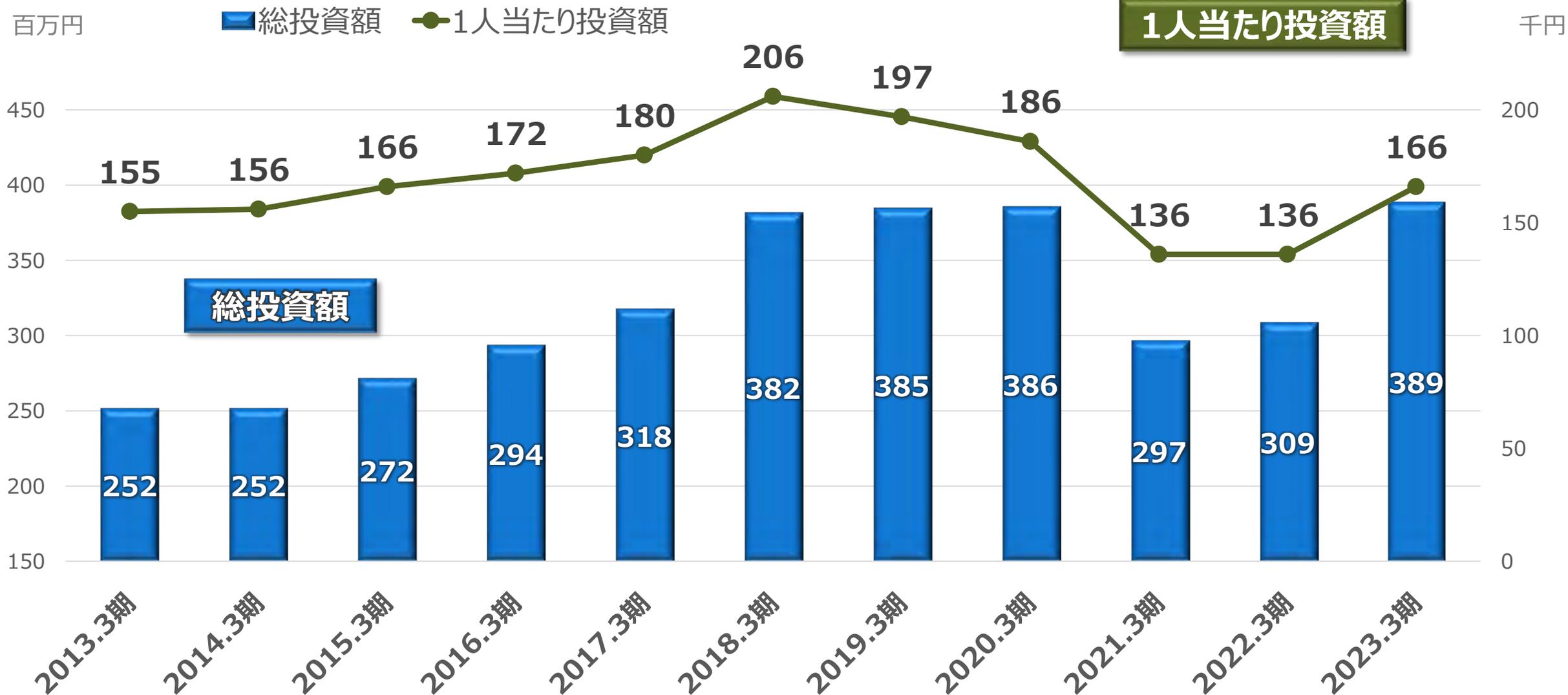
研修設備：504席（最大）、9教室、研修寮あり



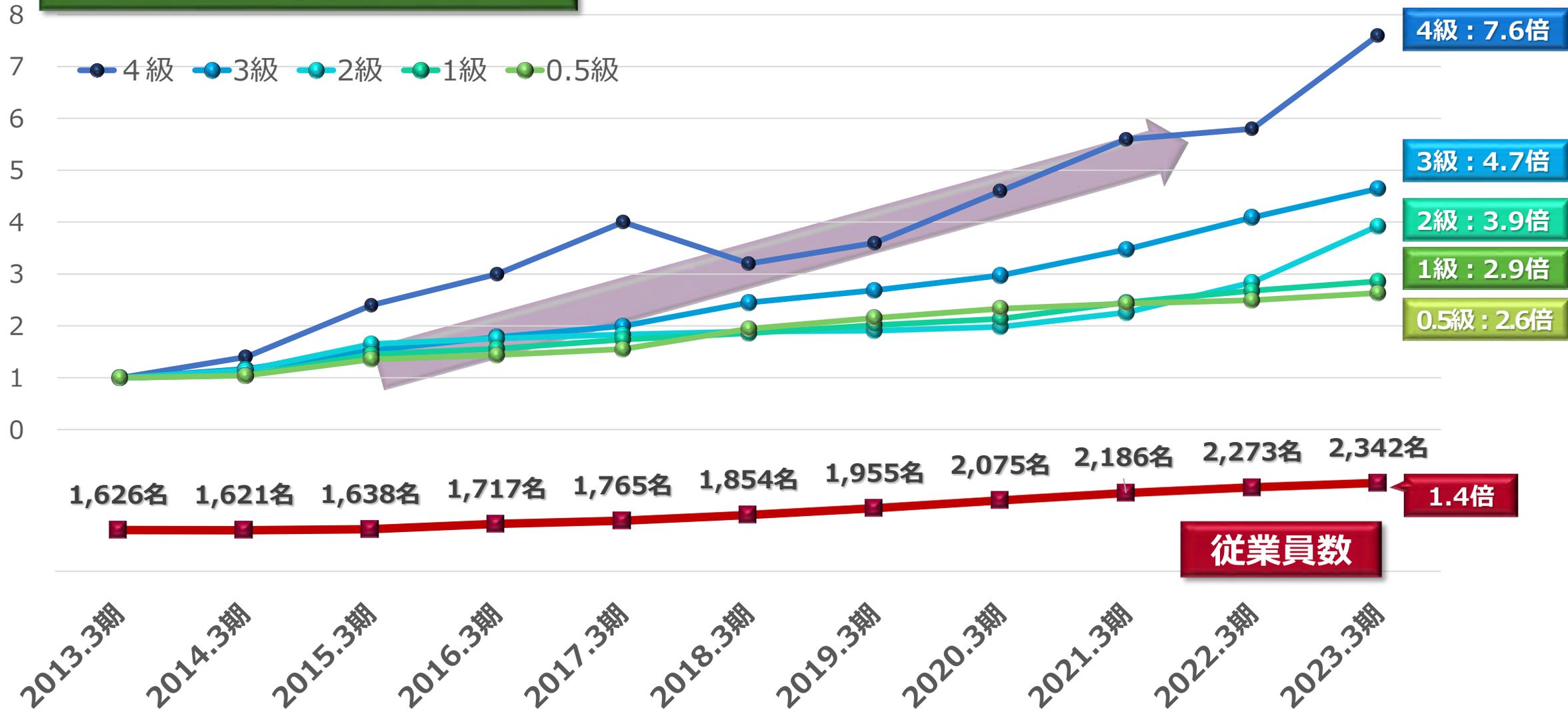
コロナ感染対策を施し研修を行っています
（2022年度の研修の様子）

開放的なKSKカレッジ受付





資格保有人数（10年前との比較）



当期の主な資格の取得状況は以下のとおりです。当期1年間の総資格取得個数は1,426個で、当期末の社員1人あたりの平均資格保有数は4.09個となりました。（合計：9,451個）

資格	取得人数	2022年度取得者数
PMP	356名	64名
LPICレベル3	210名	40名
CCNP	101名	13名
応用情報技術者	89名	18名
VMware認定プロフェッショナル	146名	30名
Oracle Master ゴールド/プラチナ	55名	3名
AWS認定プロフェッショナル/スペシャリティ	28名	21名
Oracle認定Java プログラマー ゴールド	20名	7名
情報処理安全確保支援士	34名	3名
Python 3 エンジニア認定基礎/データ分析	108名	54名

平均資格保有数 4.09個/人

2022年度 年間資格取得個数 1,426個

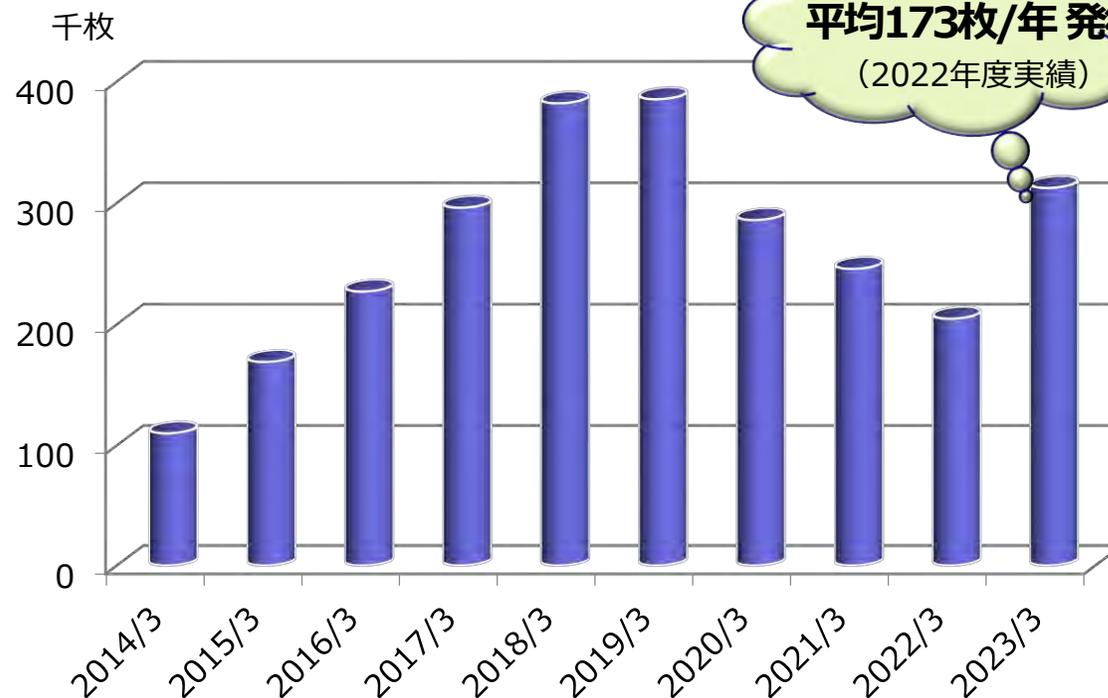
(2023/3/31時点)

エンゲージメントを高める明るい職場づくりの施策として、“**ありがとうの気持ち**” を伝える
 «**スマイルカード**» を全社展開しております。

讚え合う良い風土

-  お互いを褒め合うことでお互いの良いところを伸ばし合う
-  相手への関心が良きチームワークへとつながる
-  感謝し合うことの積み重ねが相手を思いやる気持ち、助け合う職場をつくる

Smile Card発行枚数の推移



コロナ禍における人的交流の制約を受け、従来エンゲージメント施策の一環として行っていたバーベキュー（“BIC” ~BBQ Invitation Card~）の代わりにオンラインでの会食を推奨しています。補助金制度を導入し、コロナ禍での従業員のコミュニケーションの活性化に大いに効果を発揮しています。

【オンラインBICの様子】



2020年6月以降、新型コロナウイルス感染症対策として、食べ物や飲み物を用意してオンラインで懇談する「オンラインBIC」を通じ、多くの社員が親睦を深めています。

オンラインB I Cへの延べ参加人数



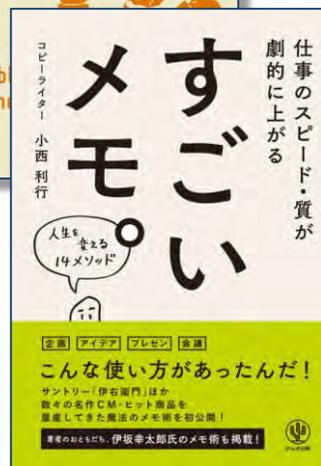
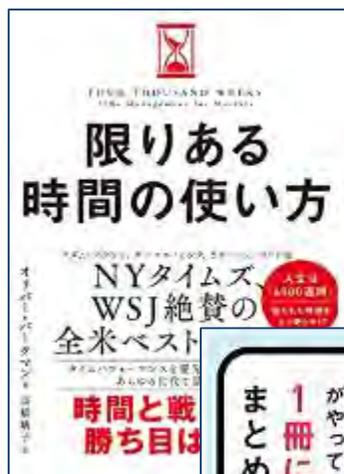
2023年5月以降、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への変更に伴い、屋外で行う通常の“BIC”も再開しました。





チームのメンバーが自分たちで選定した本を読み、その感想や意見を述べ合うことで、チームメンバーの相互理解を深める読書会を実施しています。2022年度は 9,320冊を配付し、1,910名が読書会に参加しました。

その人が読んでいる本を知ることは、**その人を知る**ことである





K S Kグループの長期的、継続的な成長を実現するためには、その主体である従業員一人ひとりの健康が不可欠であると考え、2014年10月に「健康経営宣言」を掲げ、代表取締役社長が健康経営担当の最高責任者となり、「心・技・体」三位一体の人づくりに取り組んでおります。

健康経営の主な取り組み

1

エンゲージメント重視の経営

上司や仲間と支え合う心の「絆」の形成

2

全社禁煙宣言

2015年11月に「喫煙者ゼロ」を達成し、継続中

3

わくわく健康プラン

社員一人ひとりの健康促進プログラムの展開
(参加率67.6% ※2022年度実績)

4

定期健康診断の受診

定期健康診断受診率100%
(KSKは20年連続で100%受診を継続中)

5

エンジェル アシスト

健診結果の有所見者100%フォロー活動
(フォロー率90.1% ※2022年度実績)

6

長時間勤務撲滅

長時間勤務モニタリング制度による事前チェック
(KSKの月間60H以上残業実施者：延べ7人/2022年度)



「健康経営銘柄」に選定

2023年3月、経済産業省と東京証券取引所が共同で、上場会社の中から「健康経営」に優れた企業を選出する「健康経営銘柄」に**5年連続で選定**されました。



「健康経営銘柄2023」選定企業（31業種49社、業種順）

業種	銘柄コード	企業名	選定回数
情報・通信業	4432	ウイングアーク1st株式会社	初選定
	9434	ソフトバンク株式会社	初選定
	9687	株式会社KSK	5回目
	9719	SCSK株式会社	9回目

出典：経済産業省ホームページ

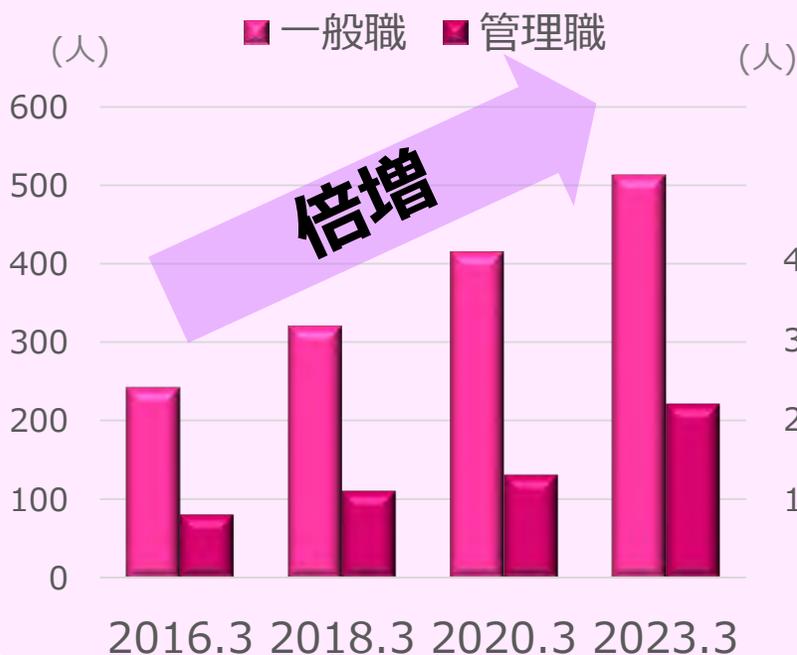


あわせて、経済産業省と日本健康会議が共同で選出する「健康経営優良法人（ホワイト500）」にも**7年連続で認定**されました。



K S Kグループでは、性別・年齢などに関わらず誰もが能力を最大限に発揮できるよう環境の整備を進めています。女性の活躍推進に向けては、管理職に占める女性の割合が低いことなどを課題と認識し、環境整備に向けた施策を展開しています。これにより、女性社員・女性管理職の人数はSDGsがスタートした2015年度と比較し、いずれも2倍以上増加しています。なお、女性の育休取得後の復職率は引続き100%となっております。

女性社員・管理職の推移



【ご参考】

男性の育児休暇取得状況

女性の職場復帰を促す男性の育児休暇取得率は2023.3期で73.1%となっております。



男女の賃金の差異

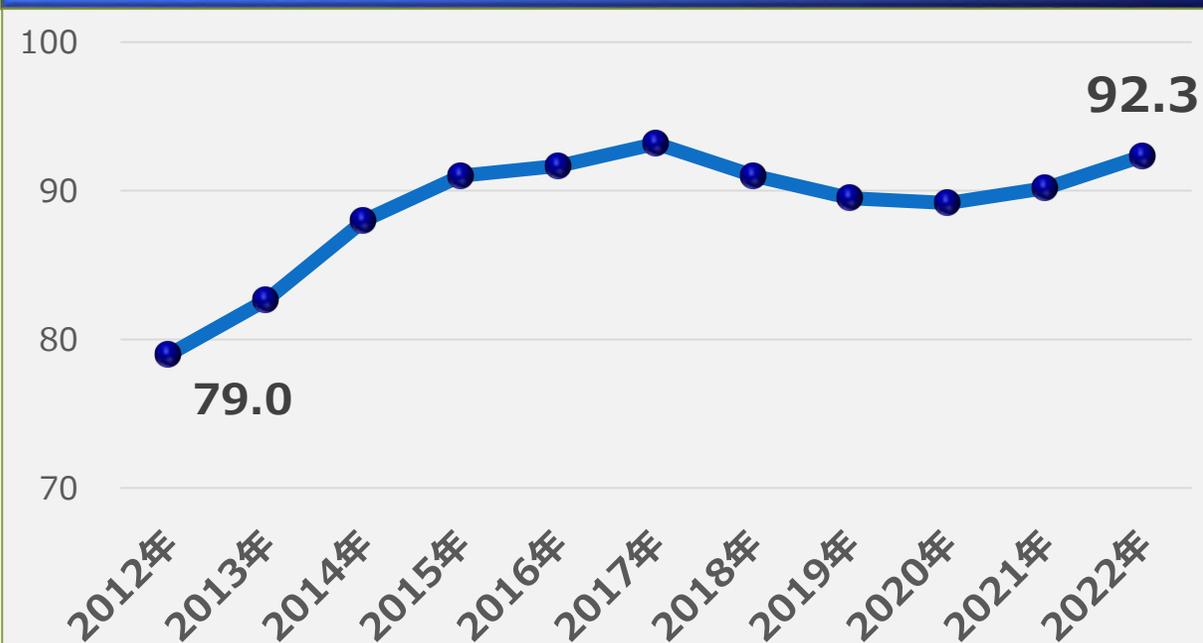
※ KSK単体ベース

	従業員数 (人)	平均年齢 (歳)	平均勤続 年数 (年)	平均年間 給与 (千円)
男性	1,325	36.3	11.3	5,347
女性	425	30.4	5.8	4,399
全体	1,750	34.9	9.9	5,117

※ 同一労働の賃金に差はなく、男女の賃金に差異が生じているのは、勤続年数や等級別人数構成の差によるものであります。

エンゲージメントサーベイ

調査結果推移



	2012年度	2022年度	ポイント差
期待	86.5	93.7	+7.2
意見	79.5	94.3	+14.8
強み	75.8	90.0	+14.2
成長	85.8	91.5	+5.7

- ✓ 何を**期待**されているかが明確になっている
- ✓ 自分の**意見**を聴いてもらえる環境にある
- ✓ 自分の**強み**を活かした仕事をする機会がある
- ✓ 仕事上で学び**成長**できると感じている

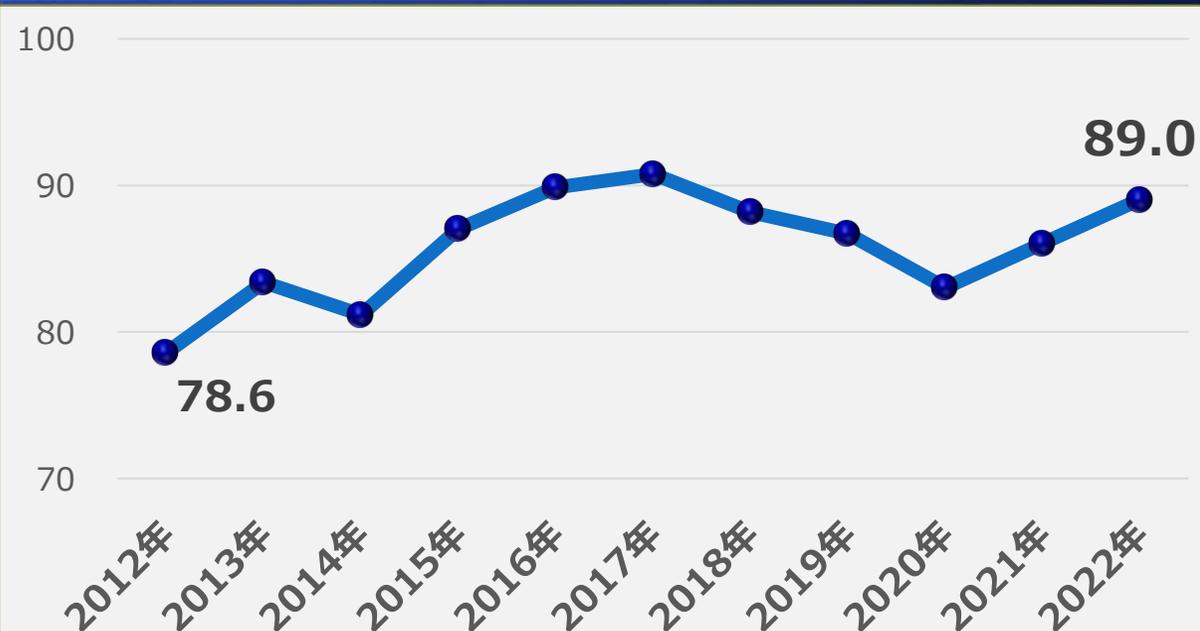
エンゲージメントサーベイを通じ、従業員の「働きがい」16項目を定量的に測定し、2012年度比でサーベイ結果は16.8%向上しております。

★エンゲージメント：① 個人は組織への主体的参加により存在意義を見出し、② 組織は個人の働きがいを支援し、③ 個人と組織の成長が相互に連動します。



チームカサーベイ

調査結果推移



	2012年度	2022年度	ポイント差
認め合う	85.0	87.3	+2.3
目標と役割	84.3	93.5	+9.2
成果	73.8	89.5	+15.7

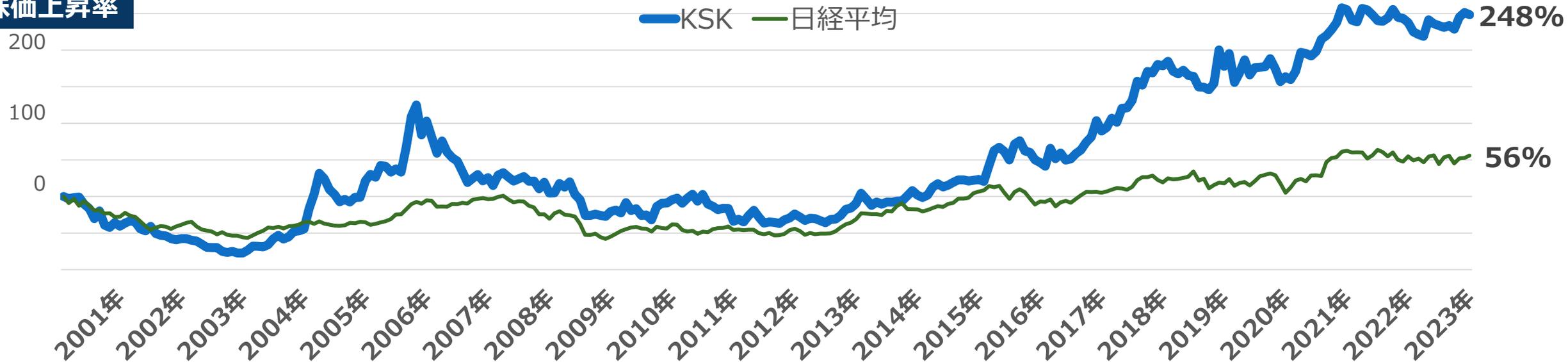
- ✓ お互いの価値観を尊重し**認め合い**、課題や悩みを話せる環境となっている
- ✓ チームの**目標**が明確であり、メンバーが一丸となって努力している
- ✓ チーム活動を通じて主体的に行動する機会が増え、CS・品質向上に**成果**が出ている

チームカサーベイを通じ、当社成長の基盤である「チーム制」における「協働の場」「成長の場」「帰属の場」としての従業員の意識を定量的に測定し、2012年度比でサーベイ結果は13.2%向上しております。

★**チーム力の向上**：① 現場力向上を通じたグループの競争力強化、② 同時にビジネスの実践による社員の自己実現を図るものです。



株価上昇率



ITバブル崩壊

リーマンショック

東日本大震災

新型コロナウイルス

ISO14001認定取得

チーム制導入

CS活動開始

読書会制度導入

BIC制度導入

Smileカード制度導入

5S活動開始

健康経営宣言

禁煙運動

ブランドメッセージ制定

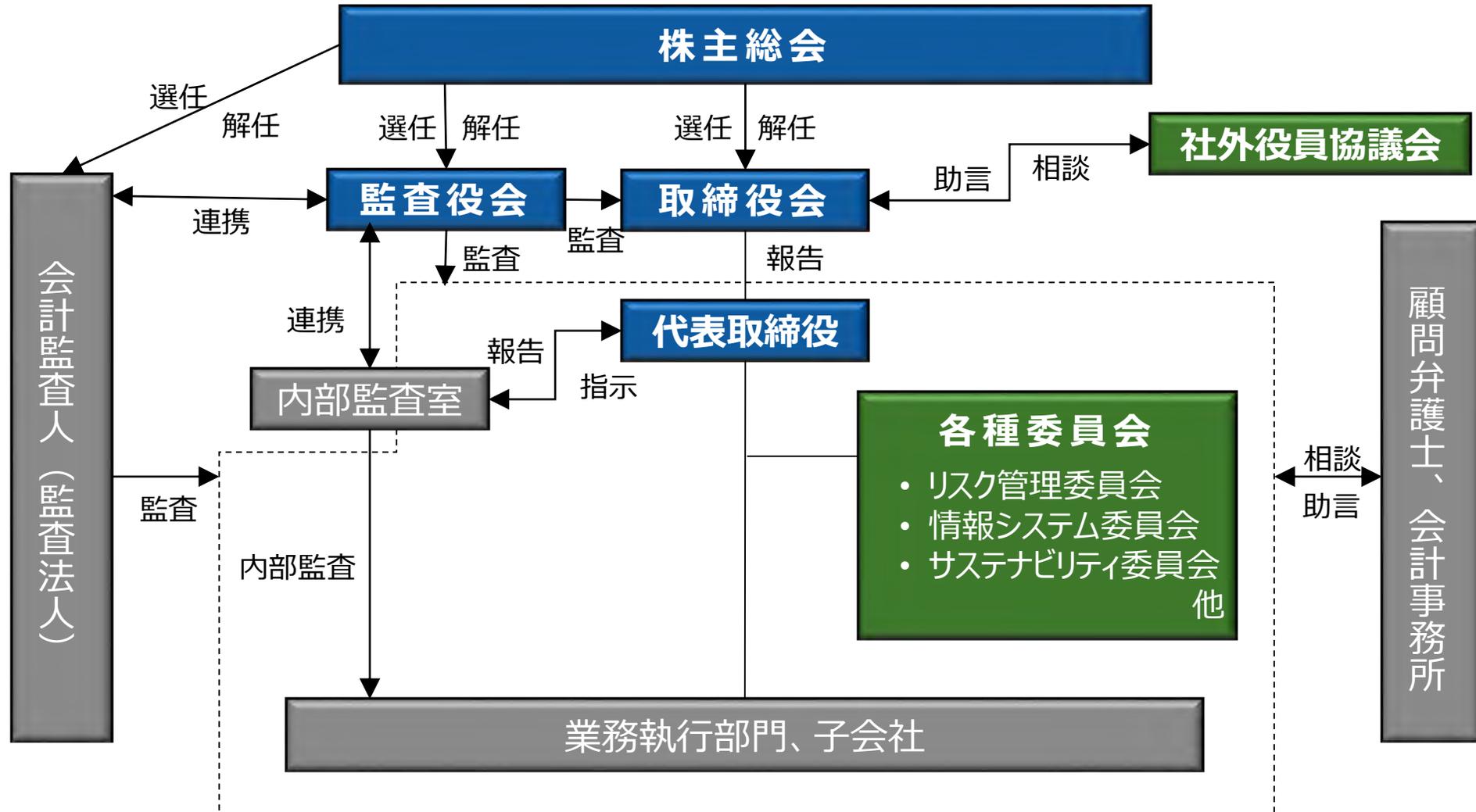
品質向上プロジェクト

ホワイト500認定

健康経営銘柄選定

全社技術力向上委員会設置

サステナビリティ基本方針制定



社外役員協議会

- ✓ 非執行部門という共通性を持った社外役員等からなる「社外役員協議会」は、当社経営陣から独立した中立的な見地から、取締役の選任プロセスおよび報酬等の決定プロセスに関与するなど経営の客観性・透明性を高めております。
- ✓ 当社グループの役員選任の基準と手続を定め、社内役員および社外役員それぞれの選任基準を満たす候補者を選定の上、社外役員協議会に提示しその協議結果を付して取締役会において決議しております。

リスク管理委員会

- ✓ リスク管理の全社的推進とリスク管理に必要な情報の共有化のための指導・支援および諮問
 - ① リスク管理の全社的推進
 - ② リスク管理に必要な情報の共有化
 - ③ リスク管理に係る事項について諮問
 - ④ リスク管理の運用も含めた管理統括

情報システム委員会

- ✓ ITに関する具体的な方針決定、運営、経営者に対する諮問
 - ① 情報システムに関する活動のモニタリング等
 - ② 技術採用指針明確化
 - ③ 活動内容の経営者への報告
 - ④ 意思決定支援のための情報の提供
 - ⑤ 基幹業務システム委員会との協調

サステナビリティ委員会

- ✓ 「サステナビリティ基本方針」を踏まえ、コーポレートガバナンス・コード等に対応し、関連諸施策を推進・管理、取締役会への報告
 - ① 「環境」、「人権」、「健康・労働環境」、「公正取引」、「危機管理」の各テーマ

KSK-CSIRT

- ✓ サイバーセキュリティ対策

6

Appendix ～ご参考～

決算年月		2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
売上高	(百万円)	16,421	17,274	17,547	18,623	20,358
経常利益	(百万円)	1,402	1,651	2,275	2,229	2,292
親会社株主に帰属する当期純利益	(百万円)	932	1,083	1,533	1,501	1,589
包括利益	(百万円)	936	1,079	1,496	1,500	1,588
純資産額	(百万円)	10,842	11,444	12,546	13,632	14,793
総資産額	(百万円)	15,270	15,550	17,624	18,497	20,173
1株当たり純資産額	(円)	1,805.69	1,883.43	2,076.29	2,253.34	2,441.29
1株当たり当期純利益	(円)	155.21	181.48	256.47	251.58	266.27
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	(円)	152.07	177.73	251.56	246.04	260.08
自己資本比率	(%)	70.3	72.8	70.3	72.7	72.3
自己資本利益率	(%)	8.9	9.8	12.9	11.6	11.3
営業活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	1,338	1,388	2,296	991	1,431
投資活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	△1,031	△101	△574	△1,640	△1,607
財務活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	△446	△571	△427	△463	△458
現金及び現金同等物の期末残高	(百万円)	4,243	4,960	6,253	5,141	4,507
従業員数	(人)	1,955	2,075	2,186	2,273	2,342

ありがとうございました

お問い合わせ先

I R 担当 取締役執行役員 管理本部長

川辺 恭輔

管理本部 経営企画担当

金谷 新

TEL. 042-378-1100

<https://www.ksk.co.jp>

- 本資料は、当社グループの業績およびグループ事業戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社の株式の購入や売却を勧誘するものではありません。
- 本資料の内容には、将来の業績に関する意見や予測等の情報を掲載することがありますが、これらの情報は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されております。よって、その実現・達成を約束するものではなく、実際の施策や業績は、今後の事業環境等の変化により異なる場合や予告なしに変更されることがあります。
- 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。また、本資料の無断での複製、転送等を行わないようお願いいたします。